

## 平成 21 年度第 4 回宮前区区民会議 公園・地域づくり部会摘録

- 開催日時 平成 21 年 9 月 3 日（木） 18：15～20：25
- 会 場 宮前区役所第 2 会議室
- 参加者 佐藤部会長、久保委員、鈴木委員、田邊委員、吉岡委員（以上、公園・地域づくり部会委員 5 名）  
永野委員長（以上、オブザーバー 1 名）  
岩佐企画課長、成澤主査、鈴木職員（以上、宮前区企画課 3 名）  
福田研究員（株式会社シー・エス・ケイ 1 名）
- 傍 聴 無し
- 開 会  
岩佐企画課長が、開会のあいさつをしました。  
会議の公開について、委員の了承を得ました。

### 1 議事

司会：佐藤部会長

#### （1）具体的な課題解決策について

- 佐藤部会長** 前回、資料 2 提案③「もっと公園で遊ぼう～宮前区公園あそびの日の設定～」について、各団体に持ち帰りどんな取組ができるかを検討する宿題がありました。
- 久保委員** 主に乳幼児向けの企画に協力できます。今、外遊び広場をやっているの、公園の日に合わせてイベントができます。
- 鈴木委員** ボランティア部会に子育て中のお母さんのサークルがあり助成金を申請しました。毎週お母さんたちが公園を渡り歩き、サークルを活発にしたり人とのつなぎをしています。そういうグループを巻き込んだ活動ができるかも知れません。公園体操は毎週 80 人くらいが集まり、野川だけでも 5 か所で開催しています。ただし、遊びの日の活動ですから、子どもたちの遊びに高齢者がついていけるか、お母さんたちが持ってくる企画とお年寄りが望む企画をどうしたらマッチングできるかのイメージが今はありません。
- 田邊委員** 公園清掃や祭り、盆踊りなどの場合は、三世代のコミュニケーションが図られていると思います。民生委員、保護司、ボランティアに話を聞きましたが、高齢者は同年代で体操やダンスをしています。そこで改めて公園を中心にした定期的な交流、集まりというのは意見としては出てきていません。健やか体操などは、高齢者の一人住まいの方に外に出てきてもらい、体を動かすことで老化を食い止める効果はあります。その人が子育てのお母さんが来る時間帯まで残るかという残りません。健やか体操の時間が過ぎると解散します。次世代とは、小学校のわくわく教室や野川のどんど焼きなどでは交流しますが、定期的に希望するものはなかったです。ないから、区民会議でどうするかがこれからの提案でしょう。その時にどう持っていくのか。年寄りには疲れると言います。区民会議やまち協の方は、自分たちの意思で子どもたちと動いているので抵抗がありませんが、一般の人は次世代とのコミュニケーションという話は聞きませんでした。
- 福本委員** 野川第三公園の管理運営はうまくいっています。花壇の花植えなど、整備が整っています。使用状況を見ると、早朝はさわやか体操などかなりの人が来て、終わると午前中には子育てのお母さんが来ます。そのあと夕方まで空間になり、薄暗くなると犬の集団が集まります。先日犬の集団から、調教をするので公園を貸してくれと言われました。不特定の人がたくさん来るので、他の人

が遊びに来たときに事故があるとまずいということで注意し断りました。

**佐藤部会長** スタンプラリーやディスカバーウォークの話が出ていますが、スタンプラリーはどういう声のかけ方をしましたか。

**福本委員** 社協を中心に3つの小学校を拠点にして募集をしました。かるたに沿って地区を3分割し実施しました。学校によっては遠いので集まりの悪い学校があります。今年は3つのうちどこでも自由に参加してもらうことにしました。集まる場所も、自分の行きたい場所に集まることにしました。総括は野川中学校の先生が行っています。

**佐藤部会長** かるたを公園に変えて協力を得られたらどうか、公園のイベントということであれば、協力は得られるのでしょうか。

**鈴木委員** 一般向けのウォークラリーは公募したので、いろいろな人が参加し、野川めぐりをしました。かるたの説明を確認しながら公園や名所旧跡を歩き、80人ほどが集まりました。

**福本委員** 各ポイントで、かるたの内容を知っている人が案内や解説をするなど、協力を得ながら実施します。

**佐藤部会長** それは、かるたがあるからでしょうか。公園に目を向けるイベントでは集まらないですか。

**鈴木委員** 集まらないでしょう。公園は集合する場所で、公園を巡るわけではないです。

**久保委員** 公園で煮炊きはしないのですか。

**福本委員** 寒いからトン汁を作ろうといっても、社協が主催のため前の晩に用意することが禁じられています。当日では間に合わないので、公園での煮炊きはしません。公園に魅力や特色があればラリーができますが、今は魅力がありません。

**鈴木委員** 第一社協では公園でのイベントは企画していません。

**佐藤部会長** 協力をお願いしても難しいですね。地域交流会議で野川のステキなところの写真を募集していますね。公園の写真コンテストという話も出ているので、そこに公園を組み入れると趣旨は違ってきますか。

**福本委員** 写真コンテスト、虹色コンサート、ラリーは、すべて部が違います。学校単位で、総合会議には説明がありますが、普段は単一で活動しています。

**目代委員** 民生児童委員・主任児童委員では、8月中は会議がなく今日宮前区全体の会議がありこの内容をお伝えしました。皆さんに、こういう話があり民生児童委員としてどうかかわれるかを考えてくださいということで終わりました。それぞれの地区の民児協の特色があります。イベントがあれば積極的にお手伝いする民児協は出てくると思います。ただ、それを主催しようとかは、民児協の仕事が多岐にわたっているので、自主的にやるのは無理でしょう。

**吉岡委員** 公園の清掃と祭りは20年くらい前からやっています。最近、公園体操をしようという話が出ています。盆踊りや防災訓練は小学校の校庭でやっています。公園体操を手掛かりに公園を利用してもらえるとよいです。

**永野委員長** 青少年指導員の特徴として、町内会自治会、子ども会、PTAのつなぎ役はできます。ただ、いろいろなことをやっているのでも、手を挙げてもらうのは無理です。どこかに決めて、これを役割として担ってくれという形なら動員はできると思います。子ども会連合会は活動が縮小し、ソフトボールやバドミントンなどスポーツを維持するために子ども会をすることで増えていきます。子ども会、青少年指導員とも、小中学生を中心に面倒を見てきましたが、これからは小学校前の子どもをどうするかです。子育て中のお母さんなど関われば、子ども会の会員になってくれます。企画を作る部門があれば、そこに連れてくる人のつなぎの役はできます。

**目代委員** 民生委員もお手伝いできると思います。盆踊りや運動会には関わっています。町会とタイアップして何かをするときにお手伝いはできます。

**永野委員長** 子育て支援のネットワークがあり、そこにPTAなどが入れればできそうな気がします。

**佐藤部会長** 担い手として主として動いたり、既存の活動に組み入れるのは難しいと感じました。何か決まっていれば手伝えるということです。事務局としては担い手をきちんと解決できないと難しいということですね。

**事務局** どこかの公園で何かをやるのが決まり、そこに青少年指導員や民事協が協力することができるという話かと思いますが、やはり核となり企画する人がいないと提案として難しいと思います。

**福本委員** 区民祭で竹細工をしたときは、人気があり子どもが集まりました。公園で何かをするなら、目玉を作るか、小動物を飼うなどすると集まりはいいでしょう。時間的な問題がありますし、公園の大きさなど特定されます。

**永野委員長** 子ども会連合会の役員は昔遊びが得意なので、月1回くらいなら来てくれます。人材はたくさんいます。それをどう呼び込むか、企画をうまくできるとよいです。

**佐藤部会長** あそびの日とすると大きなことになるので、プレイパークに手伝いに来る程度でしょうか。

**久保委員** 私のイメージでは、あそびの日の設定というのは、宮前区として公園を活性化していく意思表示であり、いろいろな公園でこんなことをやっている区がバックアップして宣伝するイメージです。

**鈴木委員** 新しいことは企画がうまくいく場合がほとんどありません。今やっていることを大きくし、そこにつなげるのがよいでしょう。

**久保委員** 今やっている体操も、名前を変えればその中に入るでしょう。

**佐藤部会長** 公園の日を一週間と設定し、この公園では公園体操をする、この公園では竹細工をやるので集まりましょうと声をかけるというイメージですね。

**永野委員長** 今は公園に目が向いていないので、公園の日という宣言をする。似顔絵描きのおじさん、流しそうめんが好きなひと、バーベキューが好きな人などがいるので、公園に行ってやってもらう。目を向けさえすれば人材はいます。新たに何かをやるのは難しいです。

**佐藤部会長** 新しい活動というよりも、今までの活動を、公園の日として公園に目を向けてもらうイメージですね。

**鈴木委員** 野川では、第三公園で自治会が掃除をしています。改めて来てもらうのではなく、そういう日に合わせて実施してはどうでしょう。子どもたちが参加できるように、竹細工できる人、布のわらじ草履ができる人など、昔遊びを清掃の日に合わせて実施する。今は清掃の日には子どもは来ません。

**目代委員** グループのお母さんに声をかけて、コーディネートすればよいです。

**鈴木委員** 体操は何曜日にやっていると、同時に実施すればいいです。新たにやるのは難しいです。

**目代委員** 今日はどこ公園で何をしているという情報を集めればよいです。

**鈴木委員** それを区民会議や区役所が応援し、全部が重なればよいです。一律にこの日を公園の日にしましょうというのは、地域性があるので無理です。

**永野委員長** 体育指導員がウォーキングのイベントをし、最終的には公園に集まります。その日を公園の日と位置付けて、イベントに参加した人以外も公園に来て遊んで良いですよとすればつながりができます。

**田邊委員** 川崎市市内の統一美化運動が今月の27日にあります。自治会ごとに日曜日でなくてもいい

とされています。年に3回自治会と一緒にやっていますが、子ども、親など120〜30人は来て、お茶やジュースを出します。終わった後に何かしようとなると、いつの間にかいなくなります。清掃は10時から11時なので、残すと食事の時間になり難しいです。9時から始めて10時半に終わらせ、12時くらいまでできるものがあるとまた違うでしょう。

**佐藤部会長** 体操なりディスカバーウォークに声をかけることはできそうです。区民会議の提案としては行政に何を担ってほしいのかです。

**事務局** 宮前歳時記でイベント情報を出しています。ああいう形で公園に特化した情報を毎月出す。毎月〇〇日曜日は公園遊びの日ですというゆるい投げかけはできます。情報は公園事務所や区役所に集まります。体操があるから行ってみようという子育て中のお母さんが行ってみるようになるでしょう。

**佐藤部会長** 人を呼ぶのが大変です。区民会議の提案としては、公園に目を向けてもらうイベントをつくり、歳時記のようなものを発行することがやりやすいでしょうか。

**福本委員** 今の歳時記をそのまま使ってはどうでしょうか。

**事務局** 情報量が膨大になり、見にくくなります。

**福本委員** 歳時記は良く見えています。

**永野委員長** 統一美化の日など区が宣言すれば、その日に合わせてやります。特定の日を決めなくても、公園遊びの日を月に一回と決めて、他のイベントを公園遊びの日の協賛イベントなどとすれば、公園に眼が向くでしょう。

**佐藤部会長** 新しいものを各団体が立ちあげるのは大変なので、既存のものを公園遊びの日と位置付けると浸透するということですね。

**永野委員長** つながりができれば、子育てグループの人たちが、遊びを企画してほしい、コーディネートしてほしいと他の団体に頼めばいいです。

**久保委員** イベントがあるとお母さんはうれしくて来ますが、今までと同じで、イベントだけに来て渡り歩くようになります。もう少しまい方法はないかと思います。

**田邊委員** 宮崎第4公園で6月に子ども祭りをします。おやじの会の人たちが、のこぎりなどを使うと、子どもたちが集まります。自治会で11月にふれあい祭りがあり、その時に竹とんぼ、竹馬をやろうとしたら、ナイフを使うから危ない、ひっくり返ったら転んで危ない、事故が起きるという声が出て中止になりました。やりたいと言っても地域によって違います。地区社協には、児童福祉委員会、障害者の委員会、高齢者の委員会などいろいろな委員会があります。その人たちが一緒に話し合いをし、自治会も一緒になるようにしないと厳しいです。自治会だけではやれません。

**佐藤部会長** 公園に目が向いていない人を向かせるには、広報を手伝ってもらい、目が向いて来てくれると、子どもも交流になって来てくれるかと思います。

イベントとして取り上げるか、広報で取り上げるかを決めた方がよいのか、あるいは難しいのであれば、これは区民会議の提案としてはまずということもあります。

**福本委員** 公園の日が決まれば、それに従い自然にいろいろなものが出てくるのではないですか。

**久保委員** 遊びとなるとちょっと違います。

**永野委員長** 資料1の具体的な課題解決策の「コミュニティのきっかけづくり」の中に公園遊びの日の設定とあります。この程度の提案でいいのではないですか。各種団体に周知し、そこで公園遊びというものを意識してそれぞれにイベントをしてもらうということです。

**久保委員** 親子も参加できますよね。遊びではなくても花を植えようとか体操に親子で参加できます。遊びとなると子ども向けになります。それはプレイパークでやればよいです。「公園遊びの日」で

はなく、「公園の日」の方がよいです。

**佐藤部会長** 区民会議の提案としては「宮前区公園の日」を設定して周知徹底し、それを団体には意識して取り組んでもらうということで良いでしょうか。

**吉岡委員** どんな遊びにするかは地域地域に任せるとのことですね。

**佐藤部会長** 行政に担ってほしいのはPR、広報ということで区長に提案するのでよいでしょうか。

**事務局** それは花植えや清掃、イベントの情報紙を作成して毎月発行するというイメージですか。行政は周知というと、「宮前区では公園の日を決めます」と一回広報するのはプレスリリースでいいですが、継続的にやるのは難しいです。担当も変わってしまいますので、忘れられないように、毎月やるのがいいと思います。

**永野委員長** その辺は運営の担い手が、遊びの企画やイベントの企画などを今後の進め方で決めれば良いでしょう。

**事務局** 内容はいいと思いますが、広報の仕方です。

**佐藤部会長** 毎月やった方がいいと思います。各団体は行政に情報を寄せていただき、公園体操など毎月同じ情報でも良いということですよ。各団体に伝えるのは、それぞれに持ち帰る形か、あるいは行政が声をかける形ですか。

**事務局** 公園緑地管理運営協議会と公園事務所の会合が年に1回あるので、そういう場で話をすることは可能です。現状は苦情を言う場になっています。

**佐藤部会長** そういうことで良いですね。行政には、公園に特化した歳時記を発行してもらおうのと、団体としては持ち帰り公園に目を向けてもらえるようなことを普段の活動の中で副題のようにして取り組むということです。

**田邊委員** 区役所ないしは社協などいろいろな団体にお願いですが、宮前区ないし川崎市全体の中でのシニアの集まりがあります。全町会連合会や社会福祉協議会の打ち合わせ、青少年指導委員の会合など機会あるごとにアピールしてもらい、区役所から広報してもらおう。自治会だけが旗を振るのではなく、みんなで一緒にやってみましょう。一か所だけの組織でやろうとすると無理があります。一緒になってやれる方法を取ってもらえるとスムーズに行きます。

**永野委員長** 歳時記を作る予算だけを計上するのではなく、最初のコーディネートにどのような工夫をするかを考えないといけません。公園を一番使っている世代の団体、地域教育会議、学校、子育てグループ、青少年指導委員などの団体が寄り合って検討することが重要です。

**田邊委員** まち協の方たちも一緒になると良いです。平瀬川の隣にある公園で一緒にやってもいいでしょうし、まち協を巻き込むことで大きなものになります。区民会議の中にもまち協の人が多くいます。

**目代委員** 公園の日は毎月ですか。

**鈴木委員** 毎月は大変です。

**福本委員** 一月おきとか年3回など、毎月では息が切れます。

**永野委員長** 統一美化は年に1回です。

**久保委員** 季節がいいときに、2回とか3回でしょう。

**福本委員** 統一美化は毎月定期的に清掃をしています。多摩川美化もあります。

**佐藤部会長** 新しく越してきた方がスムーズに溶け込みやすい季節、なじみやすい季節などに開催できるとよいです。お母さんも仲間を作りたい4月と、夏休みの9月など、名目がつくとわかりやすいです。年に2回くらいならやりやすいです。

**事務局** 明確な理念があるとよいです。こういう理由で宮前区は4月と9月の第何〇曜日を公園の日に  
しますと言えます。

**永野委員長** 宮前区公園の日企画と銘打って、いつやってもいいでしょう。

**佐藤部会長** それですとだらだらする印象があります。

**永野委員長** コミュニティはだらだらやった方が活性化できます。

**鈴木委員** 宮前区は転入転出者が多いことが特徴です。毎月やってもいいですが、転入転出者が多い4  
月にやりましょう。企画をやるのであれば、そこに一回は合わせてくださいということではないので  
はないですか。

**吉岡委員** いつでもいいとなると盛り上がりには欠けるでしょう。4月と9月に決めて、それを強調した  
方が良いのではないのでしょうか。

**目代委員** 全町の方などに、宮前区は公園の日をやっているのだと認識してもらえれば、いろいろなイ  
ベントに公園の日という冠をつけて、月に一回集約し象徴する日を決めれば合わせてもらえるかも  
しれません。

**永野委員長** 提案としては、公園の日を決めましょうということではないですか。

**事務局** 公園の日を作りましょうというときに、事務局で日は勝手に決められません。今決めなくても  
よいですが、重点公園遊びの日と毎月何かをする。重点は4月と9月とするなどでしょう。

**佐藤部会長** 毎月やるのは掲示板の方でいいかなというイメージがありました。

**吉岡委員** 防衛庁は地域に3千平方メートル貸してくれることになりましたが、それは公園とは言いま  
せん。そういうところはどう扱いますか。

**事務局** 緑地保全地区で、厳密には都市公園法上の公園ではありませんが、そういったものを含めて公  
園で良いのではないですか。公園に準じると思います。

**永野委員長** 広場、公園、緑地いずれも公園として扱って良いでしょう。

**佐藤部会長** 提案② プレイパークをひろめよう！の「宮前区プレイパーク支援検討委員会」のメンバ  
ーとして議論してもらうには、どこに声をかければいいでしょう。行政、関係機関、青少年育成、  
子育て支援団体とあります。

**永野委員長** プレイパークをやっている団体でしょう。プレイパークをしているのはぼれぼれです。か  
んがる一は関わっていますか。

**佐藤部会長** かんがる一は情報を載せている団体で、プレイパークはしていません。

**永野委員長** 活動を支援する団体で、実際にやっている団体ではないですね。

**事務局** 既存活動団体としては、ぼれぼれや飛森をイメージしました。子育て支援団体をどうとらえる  
かです。子支連がいいのか地育連がいいのかどちらでしょう。

**久保委員** 子支連よりも地育連がいいです。

**永野委員長** 子育て支援団体は、地育連ですべて話しが通るんですね。

**目代委員** 地育連は自主保育のグループの集まりです。とりまとめは保健福祉センターが名簿を作って  
把握しています。ただし、何年も続くグループは少ないです。

**永野委員長** 子育ての次は小学生です。PTAか地域教育会議でしょう。

**事務局** 議論するには10人くらいの構成が適切かと思います。

**永野委員長** 狭い目で見ただけプレイパークよりも、子どもをどう遊ばせるかです。ケガなどを認めるのか、  
責任を分担するのかなど、基本を考えるルールづくりを検討できるのは、PTAより地域教育会議の方  
がよいでしょう。

**目代委員** 主任児童委員も0～18歳までを対象としているので、ルールづくりの委員会には入れます。

**永野委員長** とくに、母親の意識改革の問題です。PTAは、危ないことをだれが責任をとるのだという意見になりかねないです。

**田邊委員** PTAだとどうしても引くので、議論が前に進まないでしょう。横浜市のプレイパークのように、ケガは自分の責任とはっきり打ち出せばよいです。マイナス面ばかり言われては議論が前に進みません。

**永野委員長** 文句を言う人も入れた方がよいなら両方ですね。

**目代委員** 子ども会もいいです。

**事務局** 高齢者や年齢層の高い人も参加ということであれば、公園体操を推進している運動普及推進委員に声をかけても良いでしょう。

**永野委員長** ある程度多くの団体に声をかけないと、参加が否だというところも出てくるでしょう。

**吉岡委員** プレイパークと言わずに、冒険遊び場がいいです。

**福本委員** 野川の第4公園で毎年ボーイスカウトが大々的にロープを使い危険な遊びをしています。危ないと思ってもボーイスカウトはやらせています。事故が起きたときにどういう決まりがあるのか参考にできるとよいです。どういう対処の仕方をしているのか知りたいです。

**永野委員長** 青少年育成連盟に入っているのは、ボーイスカウト、ガールスカウト、海上少年団、青少年指導委員会、PTA連絡協議会です。そういう団体にすべて声をかけるのがよいのか、一部でよいのか。これが学齢期の子どもたちです。

**田邊委員** 大きな団体の場合は、団体の中で希望する人たちに出てもらうのがよいでしょう。全部出してもらっては収集がつかなくなります。いくつかのグループに決めてもらうのがよいです。

**永野委員長** 声をかける可能性のある団体を全部だして、削る作業をしないといけません。

**佐藤部会長** 全部あげてみましょう。

**事務局** 既存活動団体として、ぼれぼれと飛森。子育て支援団体として地育連から出してもらう。青少年育成では、青少年指導委員連絡協議会、区P、地育教育会議、主任児童委員会、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、高齢者の健康づくりとして運動普及推進委員。

**佐藤部会長** 行政の中に、こども文化センターを入れてほしいです。後々大きな力になると思います。

**事務局** 菅生以外はすべて市民活動センターですね。野川のこ文ではプレイパークのようなことをしています。

**田邊委員** 全町内会連合会は必要ないですか。

**事務局** 青少年指導委員があればよいでしょう。管理運営協議会の代表はありません。

**福本委員** 行政から全町連に協力の要請があれば人は出せます。

**永野委員長** おやじの会の連合会はありますか。

**福本委員** 地域地域にあり、連合会はありません。

**事務局** おやじの会は代表するところがないのが難しいです。

**久保委員** 公募はしませんか。

**永野委員長** 公募も必要かも知れません。

**佐藤部会長** 公募する際はうまく説明をしないと難しいでしょう。反対意見を目的に来る人もいるかも知れません。

**永野委員長** 公募でどういう人が来るかわかりませんが、ぼれぼれが入るなら、20年やっていますから実績の方が優先されるでしょう。

久保委員 団体に入っていないお母さんは入りたいかと純粹に思いました。

佐藤部会長 興味を持ってもらうにはいいですね。市政だよりも公募を載せてもらえれば、PRになります。

コンサル 区民会議からは入らなくて良いのですか。

事務局 部会長に入ってもらいましょう。

佐藤部会長 行政を入れて20人くらいですね。

事務局 公募は選考をしないとイケません。

永野委員長 区民会議は責任を持って、若干名で良いでしょう。

佐藤部会長 次に公園の掲示板について検討しましょう。

事務局 提案① 公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板を設置～については、こういった提案がありそうなので、並行して予算を請求しています。掲示板は、チラシなどは雨をよけられた方がいいということを見ると、1基作るのに40数万円かかります。安くても20万円くらいです。

事務局 広報掲示板のようなものと、台風が来たときには飛びます。

事務局 高いから駄目だというのではなく、一番の問題は掲示板の管理運営に責任を持って当たる団体がいないと難しいということです。公園緑地管理運営協議会にお願いする方向でご提案をいただくのがいいのかと思います。プレイパークについては、また別に考えればよいのかと思います。公園体操をしているところは、簡単なプレートに針金で括りつけて、毎週何時に公園体操をやっていますということの木やフェンスに設置することはできます。

事務局 景観上の問題は出てくるかも知れません。

佐藤部会長 毎月公園のイベント情報を発行してもらえらるなら、チラシ括りつけるものはそちらに移行してもよいかと思えます。ただし、チラシは通った人にも知ってもらえます。大きな掲示板については、維持管理をしている協議会があるところに声かけをし、やりたいというところに設置するのがよいかと思えます。金額の問題もありますし、維持管理の問題があります。公園体操などは針金で括るような形でよいのかと思えます。きちんとした掲示板は運営協議会があるところで提案した方がよいでしょう。

吉岡委員 針金形式では予定表は貼れませんか。

事務局 枠を作れば貼れないことはないでしょう。多少景観上に議論はあるでしょう。

福本委員 町内の掲示板はどのくらいすると思えますか。

吉岡委員 私たちの自治会では、大工さんに作ってもらったので高くはないです。

福本委員 普通のベニア板の一枚くらいの感じですから、そんなに高くはないです。

田邊委員 大きさは90×1800ですか。

吉岡委員 そこまで大きいのはいらないでしょう。

永野委員長 全公園に一律につけるのではないですよ。管理運営の組織があって、そこから申請してもらい検討して立てるとのことです。

事務局 予算はマックスで見えています。実情に応じて大きさや仕様も決まり、予算も下がるかも知れません。

佐藤部会長 運営管理協議会があるところだけに申請してもらうのが良いということではないということですね。

永野委員長 実際に掲示板を活用できる公園でないと意味がありません。そういう公園から準備して作る発想でよいでしょう。

**佐藤部会長** その判断は、行政のお任せしていいですか。

**事務局** そうなると、管理運営協議会がある公園とならざるを得ません。いろいろな団体と調整する機能があり、そうではないと一部の関係者になってしまいます。

**佐藤部会長** コミュニティを広げる団体ということで、広報に載せ、その中で行政として見極めることになりますね。

**事務局** 本来は補助金を渡して地域に立ててもらうのがいいのですが、協働推進事業は補助金という費目が認められていないため、区がつくり地域で管理してもらうことになります。そうなると、管理能力が問われてきます。

**佐藤部会長** 掲示板をつくりたいければ、運営協議会を立ち上げるアドバイスをすることも担っていただけますね。この提案は前回までに決まったスタンスで良いですね。

残りの時間で、維持管理の活性化の話をします。問題点ということで、温度差があるとしても、すでに管理運営協議会が活動をしています。こちらから何かをしてくださいでは上からの物言いになります。実際に活動してもらえるのは管理運営協議会になるので、何ができるかです。あくまでもサポートしかできないというのがあります。現在は、「この公園は管理運営協議会が管理しています」という表示しかありません。それでは何のことかわからないので、プラスチックのプレートに、管理運営協議会が何をしているのか、どんなことができるのかをわかりやすく書いてPRする。活動に興味がある方はこちらにご連絡をくださいと公園事務所の連絡先を書き調整してもらうのがよいと思います。

**事務局** 管理運営協議会の趣旨や目的、役割を明示すべきということですね。

**永野委員長** 管理運営協議会の機能を変えないといけません。清掃や刈り込み、ベンチの管理などハード面と、運営に関することです。設置要綱には、園芸クラブなどのボランティア団体、高齢者や障害者のサークル、PTAなどと構成団体が書いてありますが、本当にそうなっているのか。利用者団体は入っているのか。利用者団体を加えて、運営もすることに転換しないとといけませんし、運営をすると要綱に書いてあっても、メンバーは理解していません。

**事務局** それを知ってもらうためにも、公園の中に明示しておくことが重要でしょう。

**佐藤部会長** 貼ってあればそれを見て、掃除に来た人もそういうことができるんだと啓発になると思います。自分たちの役割がこういうことだと気付いてもらえると思いました。

**永野委員長** 強制的な力が働かないと気付かないでしょう。

**事務局** 公園管理課なども趣旨を伝えようとしています。それはそれで並行していかないといけません。もう一つ区民会議としてできることを考えると、佐藤さんの提案は上からの物言いにもならず、今やっていることをサポートできる提案かと思います。

**永野委員長** 運営協議会の中に、公園の利用や企画に関する部会を作れ、メンバーは利用者で組織するというようなことはできませんか。

**事務局** それは区民会議からの要望になってしまいます。要綱は公園管理課ですので、地域にできることとしては、区民会議からの提案としてはどうでしょう。

**田邊委員** 管理運営協議会には必ず自治会の誰かが入るとあり、メンバーを記入する欄があります。入っていないと公園事務所は認めません。ということは、必然的に自治会と管理運営協議会が一緒になってやれば、公園清掃の時には自治会もやるけれども管理運営協議会はこういうことをやっているというアピールになります。自治会の人が入っていれば、少なくとも公園の回りの人に情報発信ができるはずです。

**福本委員** 自治会が入っているのは、助成金の授受に対して責任を持つ団体ということでしょう。

**田邊委員** 助成金は自治会ではなく、直接管理運営協議会が口座を作り入ります。

**永野委員長** 既存の仕組みを使うと、掃除や剪定しかやりません。そうではなく、公園の利用の調整、企画を新たにやってもらわないといけません。そうすると今の仕組の上に乗ったのではありません。

**鈴木委員** 今の組織ではそれはできないでしょう。

**福本委員** 今やっている人の主体は掃除です。どう使うかは頭にありません。

**事務局** そのためには、頭ごなしにやるのではなく、来た人がわかるように明示することが大事ですよ。ねという佐藤さんの提案です。企画部会を作れと行政内部的に環境局に言うしかありません。

**佐藤部会長** 委員会は立ちあげないまでも、公園を活性化したいので代表を作ってください、公園のことを決めるときには代表を出してくださいといった要望、お願はできますか。

**事務局** 区民会議で公園を使ってコミュニティを活性化しようという提案が出ました。つきましては、維持管理だけでなく、地域の調整、コミュニティを担ってほしい、具体的には役員を置くなどが考えられますということを事務局から提案はできます。

**久保委員** 活性化し、運営協議会に入る担い手を作りたいんですよね。

**事務局** 本来は高い理想像がありながら、現実には維持管理で手いっぱいということがあります。いきなり理想に行くわけではなく、一つひとつ積み重ねて理想に近づけるしかないです。

**佐藤部会長** プレイパークの要綱を決める中で、こちら側に委員会があり、イベントなどに人の貸出しができますというサポートしかできないのかと思いました。区民会議の中から広げようというのできて、それがうまく動く次の段階として派遣をしてあげるくらいしかできないかと思いました。

**事務局** 会議の際に区民会議からの要望として紙を出すことはできますが、制度そのものをいじるのは難しいです。

**永野委員長** 一律にやるのではなく、自主的に活動している団体が自分たちで連携し、話し合いの場を持ってやれる、そんなところから始める。そういった公園については、管理運営協議会の中に企画部会を設ける。企画部会には公園を使っている団体に参加してもらおう。そういう仕組みができないかと思います。

**福本委員** そういう公園が実際にあるのですか。

**佐藤部会長** 定刻が過ぎたので、次回、可能性としてあるのかないのかを検討しましょう。宿題としてきちんとしたイベントの立ち上げなどを行っている協議会があるのかを、各自聞いてきてもらいましょう。次回で最終報告を作らないといけません。区長へ提案できるように、整理しましょう。

**事務局** 11月13日の全体会に向けて、部会としての報告の素案という形で資料を作ります。プレイパークでなく冒険遊び場にする、宮前区公園の日の設定にするなど、意見を踏まえて訂正します。課題を明確にする形で、部会報告書案の形で仕上げます。

## 2 その他

□次 回 10月13日(火)18:15から開催予定